

災害救援・復興支援(国内)

2015年度は東日本大震災の被災を受けた宮城県南三陸町での桜植樹活動を継続すると共に、9月に発生した関東東北水害後にボランティア派遣を行いました。

震災直後の現地視察・救援活動

宮城県の北東部に位置する南三陸町は、2011年3月11日の震災で震度6弱を記録し、その後の大津波は町内3つの川を逆流し、1960年のチリ地震による津波の到達地点を越えて内陸深くまで進入し、大きな被害を受けました。JHPは3月25日に同町に救援物資を届け、災害ボランティアセンターの立ち上げと運営サポートの要請を受け、これを契機に様々な支援活動を実施してきました。

◎南三陸町の震災前人口と現在

	震災前	現在
人口	17,666	13,717
男性	8,655	6,713
女性	9,011	7,004
世帯数	5,362	4,594

南三陸町HPより(震災前:平成23年2月末、現在:平成28年3月末)

活動の概況(2016年3月末現在)

活動期間:2011年3月19日~現在
 派遣人数:延べ427人(2015年度7名)
 活動日数:延べ1820人・日(2015年度21人・日)
 派遣回数:70回(2015年度2回)
 活動場所:宮城県本吉郡南三陸町
 活動実績:ボランティアセンター立ち上げ及び運営、炊き出し、町内片付け【写真A】、思い出探し隊(写真等の洗浄及び展示)、保育所支援、物資仕分、カフェ移設及び手伝い、養殖種付け及び収穫支援【写真B】、漁協支援、つるし雛講習会【写真C】、復興祈念桜植樹、植樹後手草刈り作業【写真D】など。

復興祈念桜植樹活動

JHPは、被災された方々と共に復興を祈り、希望を持ち続けてもらうための支援として、2012年11月より南三陸町で桜の植樹を継続しています。2016年4月までに計8回、合計1304本の植樹を完了しました。植えた後もボランティアによる草刈りや追肥作業をこまめに行い、町民と共に桜の生育に汗を流しています【写真E~H】。



関東・東北豪雨

2015年9月10日、台風18号による影響で、関東・東北地方で集中豪雨が発生。茨城県や栃木県で河川が氾濫するなどの水害が起きました。JHPは主に茨城県常総市にボランティアを派遣し、被災した家屋や庭などの片付け作業に携わりました。

